

主な内容

| | |
|----|--|
| 2面 | 楽しみながら体力アップ! —「町田っ子アクティブ・プロジェクト」始動— |
| 3面 | まちだの小中連携 |
| 4面 | 開館30周年 自由民権資料館に行こう! |

まちだの教育

2016年
9月21日
No. 98

発行:町田市教育委員会 編集:学校教育部 教育総務課 ☎194-8520 町田市森野2-2-22 MACHIDA TEL 042・722・3111 ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp>

「ことばらんど」へようこそ!

作家たちに愛される街、町田。
これまでに多くの作家がこの地で過ごし、また、創作の舞台としてきました。
作家・遠藤周作の資料の寄贈がきっかけとなり2006年10月に開館した当館は、こうした町田固有の文学財産を多くの人に知ってもらい、これらを将来に継承していくことを目指して活動を続けてきました。
今年は開館10周年。これまでの歩みを振り返りつつ、多くの人々が新たな世界観や生きがいを発見し、豊かな人生を実現できるよう、これからも展覧会や講演会などを通じて「文学」や「ことば」の魅力を発信していきます。



町田市民文学館

ことば らんど



◀ちちんぷいぷい
0・1歳児向けのわらべうたとおはなしの会

「ママといっしょのわらべうたあそびはうれしいな」



▶子ども俳句教室
のびのびとした自然の中で季語を探して俳句を作ります
「どんぐりが まだみどりだな もうすぐだ」

ことばと出会う

当館ではライフステージに応じ、様々なことばとの出会いの場をご用意しています。ことばとの出会いは、日常にちょっと違った視点を、くつろぎの時間を、楽しみを、加えてくれるはずです。



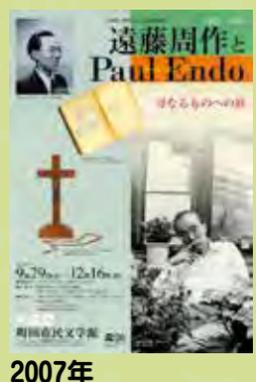
◀市民研究会
市民が2年間をかけて1つのテーマを調査し発表します

▼おとなのためのおはなし会
耳で味わう文学は本を読むのとは違う趣です

「孫との共通の話題ができるかと思い児童文学研究会に入りました。調べるのが楽しいです」



問い合わせ
〒194-0013
町田市原町田4-16-17
☎739-3420



2007年



2009年



2010年

文学を楽しむ

年4回の展覧会では、遠藤周作、白洲正子、森村誠一などの町田ゆかりの作家を中心に紹介してきました。夏季には妖怪や絵本をとりあげた、子ども向け展覧会も開催しています。本を読むだけではわからない作家の思いやバックグラウンドを展覧会で解き明かします。

「観覧者アンケートより」
「尾辻さんのことが今まであまりわかってなかったの、どのお小説を書いたのか通って小説を書いたのかわかって良かったです」

「生きる道しるべになりました。心うたれました」「小説の裏側が感じられたので、原作に親近感をもてた」「赤川次郎さんがどのように感じ、思い、小説を書かれたのかその軌跡を辿れてとてもよかったです。とても素晴らしいです」「遠藤周作、作家と作品、人柄、人生をまっとうした姿に涙が出そうだった」



2014年



2013年



2011年

おかげさまで! ことばらんどは開館10周年

秋は開館10周年イベントが目白押し!
10月22日から12月25日を会期とする展覧会「八木重吉—さいわいの詩人—」展は、八木重吉の初めての本格的な文学展となります。

会期中には、講演会やコンサート、朗読会などのイベントも実施。

八木重吉記念館から出品される数々の貴重な資料により、重吉の至純な詩の世界をご紹介します。心にひそむ深い悲しみ、家族への愛、身近な自然、ふるさとへの思いを綴った重吉の詩は、みなさんの心に響き、大切なものに気づかせてくれるでしょう。

このほか、馬場あき子さんと穂村弘さんの短歌対談や、島田雅彦さんによる連続対談では三浦祐之さんと東直子さんがご登壇、森村誠一さんの写真俳句コンテストも実施します。

いま求められている文学、これからの文学の可能性を、イベントを通じて一緒に考えていきたいと思います。詳しくはチラシや町田市ホームページをご覧ください。

